

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 23 年 4 月 20 日(水)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 23 年度第 1 回)		
出席者	浅井委員、伊藤委員、河田委員、神林委員、久保田委員、栗内委員、小林委員 佐藤浩委員、佐藤智恵子委員、塩入委員、中村委員、松澤委員、宮坂委員、 宮島委員、宮本委員、村上委員、安井委員、山田委員、渡邊委員 (欠席委員) 飯島委員 (事務局) 林市民参加・協働推進課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査		
会議次第	<p>1 開会(事務局)</p> <p>開会にあたり、この 4 月 1 日付けの機構改革により課の名前が『市民参加・協働推進課』となりました。引続きよろしくお願ひ致します。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>それでは改めまして皆さん、ご苦勞様です。大震災の話題、一色でございましてなかなか落ち着かない日々を過ごしておる訳ですが、今日は皆様方に提出して頂きました地域まちづくり方針の見直しについてまとめた物を市長宛に提出いたしました。又、我々の検討と平行しまして進められてきた総合計画審議会というこちらからも総合計画、24 年度から 4 年間の後期計画を策定して、行政の方に提出しました。その辺を踏まえて現在進行中の総合計画がどういう方向になっているか事務局の方から説明いただきたいと思っています。地域まちづくり方針後期基本計画中間答申案と具体的な資産、基本計画第 3 期の課題について、事業についてご説明いただきます。よろしくお願ひ致します。それから本日は平成 23 年度第 1 回目となりまして、この一年間は皆さんから色々な意見が多かったと思いますが、改めてあと 1 年になりますがそこで中央協議会としてどういう物を残すかまとめていきたいと思っています。なお、こういうご時勢ですので、あれもこれもというわけにはいかないのので絞り込んで、後ほどお聞きしてご判断を頂こうと思っております。よろしくお願ひ致します。それから既に新聞等々でご存知かと思いますがこちらに参加いただいております中村彰委員、岩手県大槌町へ救援活動に走って頂きました。大変な思いでお帰りになられたと聞いております。中村委員からも報告を兼ねてお話しを聞きたいと思っております。</p> <p>わがまち魅力アップの審査について、地域によっては一切受け付けないという</p>		

所もあったようですが、こういう時だからこそそれぞれの思いをできるだけ活用してわがまち魅力アップで元気を出すのも私は必要だと思いました。そんな話もお聞きしたので是非、我々の判断も正しかったと思うのでこれも最後までお聞きしたいと思います。今回もどうぞよろしくお願い致します。

事務局： それでは今日お配りしました、次第の(2)その他の方を先にしたいと思えます。まず、わがまち魅力アップ応援事業の関係でこれまでの、平成20年度から23年度の内示を含めた実績一覧表をお配りしてありますが、これと3月の審査の中央地域から出されました新規事業、市民団体4件と自治会1件。併せて5件についての回答がまとまりましたのでこれについて説明させていただきます。まず、実績一覧表について、平成20年度からの地域協議会ごとにまとめた表になっています。全体では今年度、4,143万5,000円という事で、平成23年度申請が98件ありましたが、そのうち採択は88件、10件不採択になったという結果になりました。このうち中央地域では11件の申請があり、条件付きも含めて全て採択となりました。中央地域の内示金額は、全体の約1割で415万7,000円というような形になりました。細かい内訳については資料を見ていただきたいと思えます。実際、平成22年度までの実績でいきますと全体で、20年度から63件、101件、104件、順調に件数が伸びてきたわけですが、今年度は88件という事で、件数と金額は下がっているという状況になっています。

続いて、地域協議会で出されました意見書と回答書ですが、これについて3月14日審査を行っていただきまして、それについて3月28日に意見書として市に提出して、その回答書が3月31日付けで会長に出されたという結果になっています。これについて簡単に説明させていただきたいのですが、まず、回答書を見ていただきますと「壮年ソフトボール神川リーグ」、これについては採択で全額申請額が認められて交付決定済みであり、既に事業が進められている状況になっています。

それから「上田自然に親しむ会」から出された『太郎山の木を知り、自然を学ぶ』事業で、太郎山の木々にプレートを取り付けるという事業ですが、これについては条件付き採択となり、条件としては安価で自然に優しいプレートの設置を再考していただきたいという内容を団体に申し上げたところ、再検討をしてプレートの方を安価で改良してこれから申請が上がってくる段階になっています。それと意見としてもっと活動されている内容を市民の方にPRして欲しいという意見が出ましたが、チラシ、パンフレット等作成していきながらPRすると検討しているとの事です。現段階ではそのような形です。

それから「海野町組合商店街」から出された『農・商共同コミュニティ施設開設事業』について、これも条件付き採択という事で回答がありますが、条件

は補助期間は一年間の限定とし、又その事業の成果の結果を報告する事が一点と当初の申請の中でありましたチラシの作成については対象外、という事とそれから、野菜市を除いた期間を有効活用した事業計画を再検討して再申請する事と、市の助成金の他の制度との整合から家賃補助については 1/2 補助とする事で条件を付けさせていただいて回答したところ、これに基づいた申請が得られました。これについては 41 万 2 千円の再申請の提出が出されて交付決定に至っています。皆さんから頂いた意見の中で、色々もっと有効活用をしていき、商店街の活性化となるよう検討して頂きたいという意見につきましては、実施しながら更に検討していきたいという事で活動が進んでいます。これについてこの 4 月に交付決定をしまして既に事業が進められています。

次の「オンデマンドリメイク」から出された『マイデザインアワード 2011』ですが、これについても条件付き採択となりました。その内容は、Tシャツと軍手については参加者に最終的には渡す事から参加者に一定の負担を頂く事を条件に事業の組み立てを見直すという回答をさせていただきまして、団体の方で検討している状況です。

それから最後に「踏入自治会」から出されました『天之川』についてこれは無条件で採択となり、もっとPRの方を進めていただきたいというご意見もありましたが、先程、申請書を頂きこれから事業が始まることになっています。この事業については、来年度以降の申請については改めて検討をお願いしたいと書いてありますが、単年度でやる話もありましたがやっていく中で来年度、追加の内容が出た場合、再度申請は可能なので検討されて良いと思います。今年度の状況については以上です。

会長： お聞きいただきました通り、それぞれ申請に対して、条件を付けていただきました。申請者も相手側に対して再検討されたところそれぞれが、検討しなおして提出してきたという事で、やはり潰すのではなくていかに盛り上げていくかという事が我々の使命だと思いますので、ご協力いただきありがとうございます。このところ新聞紙上にも掲載されますが、押出流域で里山整備等、色々展開しているようでございますが、これも見事に繋いでいただいたという事でわがまち魅力アップの成果だと思います。今後は、10 年間は続けるという事もお聞きしていますが、どうなるかは分かりませんが、これからもよろしくお聞きしたいと思います。以上報告に感謝しております。それでは事務局続いてお願い致します。

事務局： 会議事項の(2)平成 23 年度の予定事項についてお話をさせていただきます。通常の月 1 回のペースで会議を進めて行きますと今日も入れて 12 回というわけ

ですが、最後の3月にはどうしてもわがまち魅力アップの審査で1回はとられてしまいまして、11回となってきます。詳細は検討中ではありますが、三期目の総括といえますか、1月・2月の会議でお願いしたいと考えています。

また、わがまち魅力アップ新年度の募集にあたって制度の見直しをするかしないか等、ご意見をお聞きしたいと思っております。

昨年度、地域の課題という事で伺ったがその先の話が途中で地域まちづくり方針の見直しが入ってきたので中断しています。今後、その部分を限られた期間の中で絞込みをして進めていきたいと思う。それにあたり現在、市の方で取り組んでいる施策等を踏まえうえて、検討を進めてまいりたいということで資料をご用意させていただいています。

資料を見ていただくと、地域まちづくり方針と、現在行っている後期基本計画、具体的な内容とか、今年度予算に盛られた事業費を計上しています。まず、中心市街地の活性化という部分でこれについて地域まちづくり方針に関連する後期基本計画の制作につきまして大きな課題と致しまして市街地商業の個性と活力の創出、という事で具体的な事業として取り組んでまいります。と書かれています。それからハード的な整備について市街地の整備、あるいは上田駅を中心とした整備でいくつか掲げられています。詳細については今回省略させていただきますが、これ以降の事もそれぞれ担当課がございますので、絞込みにあたりこの部分の政策について確認部分などございましたら、次回の協議会で担当課の方から説明をしていただきたいと考えております。それともう一つは観光資源の魅力向上という事でこのような事が掲載されています。具体的な政策ですが中心市街地の活性化について国の認定を受けました活性化計画がされておまして、資料については昨年お配りしておりますのでごらん頂きたいと思えます。この計画に添い、補助事業制度があり施策として進められています。

ハードの整備の関係では都市計画マスタープランというのですが、合併後の都市計画が旧上田市と丸子地域については、ほぼ全域都市計画区域であったのですが、真田と武石の方では都市計画区域が無く、これをどうするかとなりました。これはまだ結論は出されていませんが、現在、この都市計画マスタープランに添って事業を進められています。ここに出てくる優良建築物等市街地再開発事業という事で、一富士の跡地ですが具体的には、いわゆる優良建築物で補助金が出る事だと思います。後は、交流文化施設事業などです。

それから次の歴史遺産の融合調和を図るまちづくりの関係について、こちら後期基本計画で上田城史跡保全整備等沢山ありますので内容については省略させていただきます。歴史的遺産の活用という項目で観光資源の魅力向上、更には地域の価値を高める魅力的あるまちづくり、この点については歴史的調和の活用施策を後期基本計画にも持っていくという事ですが、今年度、具体的な

経費については予算的には計上できていません。そのような状況です。これについては関係する地域の皆様方で何をどうするかとまだ決められていないのでご承知をいただきたいと思います。

次の、全ての人にとって安全安心なまちづくりという事ですが、ここは抽出した形で掲げていますが防犯体制の確立と各種災害への対策というそれぞれ具体的事業も載せています。予算の方も防犯の関係は9,300万円と交通安全は700万円という形で計上されていますが事業の範囲も多岐に渡るものですから、詳細については省略させていただきます。また、詳しく説明させていただきます。

次に、自然環境の保全と共生によるまちづくりこちらについては、市の予算もそうなのですが、自然文化という総合計画の中でどうしても自然という物が少ないのが実状です。後期基本計画の中でも「豊かな自然環境の保全」、あるいは「自然環境と直接触れ合える組織」と出ていますが事業が具体的にあまり無いのが実状です。緑の基本計画も旧上田市のものをそのまま継承してやっている状況で、新市としてはまだできていない状況です。花の苗を配り都市緑化推進事業という形で予算的には1,200万円程、計上されています。

次、保健福祉医療活動の拠点整備と人的資源の活用では、各種子育て支援に対する施策という事でいくつかの項目が出ておりますが、安心して医療サービスが受けられる環境、それから高齢者が充実した生活を送られる仕組みを整える、更に障害者が自立した生活を送れる体制をつくる。地域福祉計画に基づく地域福祉の推進を推奨していくという事で記載されています。それぞれの予算が計上されています。とりわけ、安心して医療サービスが受けられるという部分ですが、個別の計画としては上小医療圏地域医療再生計画に基づき、地域医療対策事業として4,400万円、周産期医療の関係について1億円以上の予算計上、それから23年度については、産院の移転に着手していて9億4,600万円という事で建設費が計上されている状況です。

次の項目になりますが、地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくりでこれは既にご存知の通り、この4月1日に自治基本条例を上田市も制定しまして施行という事になっております。今、こちらの説明会の準備、及びパンフレット等の作成をしまして、間に合わないので順次揃い次第お話をさせていただきたいと思います。これに代表されるように市民協働によりまちづくりを推進し、市民主体の持続可能なまちづくりという項目を掲げて施策を展開してまいります。それから自治会をはじめとするコミュニティ活動団体のところでは強化となっておりますが、各種交付金等を含め、従来通りではありませんが進めているところです。それから、人材の発掘・活用養成という事で去年から始めている地域づくりコーディネーター養成講座、あるいは地域での講座があるかと思えます。それから後期基本計画の進め方としては各種団体

等、連携した協働によりまちづくりの推進、住民と行政の協働による防災体制の整備、自治防災組織への支援という形ではありますが、こういった事が掲載されてあります。

最後の項目になります産学官連支援施設や伝統工芸など地域の特色を生かした産業の振興、地域まちづくり方針の計画としましては、従来からの引続きの関係になります。知的創造拠点の活用、地域イノベーションクラスタープログラムの事業の活用についてやるようです。それから農業の関係では、地産地消の推進するという事で事業費的には 450 万円が計上されています。ものづくりの関係については、次代のものづくりを担う人材の育成で、具体的な事としてはものづくり教育推進事業、上田紬や団体の補助金が計上されていますが、こちらも具体的な事が無いのが実状です。

ひと通り総合計画中間答申の中身と投資予算の事業の中から抽出してとりまとめた形となっております。もう一つ、冊子で平成 23 年度の実施計画、計画行政という中で実施計画は 23～25 年度の 3 年間計画という事で毎年作成しています。総合計画、どちらかというところザックリした計画です。これをより具体的な計画にしていくのが実施計画となっていて、登載基準がありハード事業については 5 千万円以上の条件で新規のソフト事業は実施計画の対象になっています。

ここで上がっている金額が入っていないものもありますが、これについては項目計上と言いまして時期等詳細が決定していない事業も入っています。中央地域に関連するものは、観光と商業についてですが観光資源の魅力向上という事で、池波正太郎シアター映像作製事業が掲載されています。それと市街地商業の個性と活力の創出という事で、優良建築物補助金の関係、大手門地区の緑地・広場の整備、それから仮称海野町地区の優良建築物の整備、実施計画段階では事業費が入っていませんが、実際の予算は 1,880 万円になります。次、上田城跡整備事業ですが、三年間の計画が掲載されています。笠原工業製糸遺産整備事業ですが、23 年度には整備基本構想を策定するという事です。それから安全で良好な公園・緑地の整備ですが、JT 跡地、緑地広場の整備で今年度が実施設計、来年度以降が着手をし 25 年度完成を目指していくという事になります。次の魅力ある地域景観の形成で信濃国分寺の石畳の整備が掲載されています。それと道路については、沢山掲載されていてそれぞれ該当する路線もありますが、ご覧頂きたいと思います。それから、医療福祉の関係、産院の移転については今年度、本体建設、医療機器等購入と掲載されています。学校の環境整備の関係で、校舎新增築・改築で、今年度、塩田中、傍陽小に加えて第二中学校の基本設計に入りまして来年度は実施設計、25 年度は校舎建設となっています。また、担当課から詳しく聞く事があれば確認して進めていきたいと思っています。

会長： 大変、ザット駆け足で説明をしていただきましたが、恐らく皆さんは初めて

ご覧になる資料かと思えます。既に行政側として検討し進めている部分、まだという部分色々ございますが、この実施計画はとても大事な計画で、毎年項目ごとに計画を立てながら進めていると聞きました。ここに掲載されていても実際はその時の状況によってズレルとこともありますので皆さんのご意見を取り入れながら進めていければと思います。よろしくお願ひいたします。

委員： この実施計画の冊子でP14ですが、生ごみ減量資源化事業で、この中央地域で提言した生ゴミの堆肥化事業について、実施計画に載らないのかなと思った。せっかく労力をかけたのを見てショックでした。生ゴミの減量化の中にも色々あり、電気式の生ゴミ処理機を補助する予算もあると思うが、そうではなくてという事を言っている。問題は電気式の処理機を補助するのではない。冊子で同じ名目にしてあると細かい部分は分からない。提言しても、なかなか通らないという不安があります。

事務局： 資料のまとめ方の関係で、七つの項目からいくと生ゴミの関係はないものですから拾わなかったが個別にはあるはずですよ。

会長： 私からの補足ですが、実は総合計画審議会でもこの問題は反対する委員がおられました。専門家の方は生ゴミ処理の問題は原点にもう一度考えなおそう。と発言がありました。おそらく各所でバイオマス構想を白紙に戻そうという話があるようだ。詳しい事は分からないが、行政側としても結論が出ていないのかなと思いました。担当部署がどういう考えなのか説明を聞きたいと思うのでぜひよろしくお願ひ致します。他にありますか？

委員： 後期基本計画の本答申はこれからだと思うけど、この実施計画の金額とかは最終的な答申を得た中での解釈で良いのか？実施計画の空欄の所。

事務局： これはこれで確定しています。23年度についてはそうだが、今年度中に24.25.26年度の三年分を策定するのでそこには反映される。

委員： 白紙の所に数字が入ってくるのか、それとも、23年度分の白紙の部分は数字が入らない解釈で良いのか。

事務局： ものによる。これは正式に配られるのは3月なのですが、実際には11月位には決まっている。それに対して予算要求して良いと決まっているので、最終決定は3月なのだが、ここに入っていないのは扱われず予算要求にならない。ただ、

ここに入ってなくて予算要求する中で急に予算化されるケースはあります。その時もさかのぼって手直しが入らないので白紙のまま。この中でも予算になってくるものもあります。

会長： 根本的に記載されている有無について 23 年度は主としてその後の構想としてはどこかで手をつけたいという行政側の思いがあるわけですか。

事務局： 気持ちはそうだが、10 年位数字が入らず項目だけという事が過去にはあります。やりたい気持ちはあるが具体的な事が決まらず、先送りになる。

会長： 急ぐ気持ちはあるが皆さんからまた、意見を出していただきたい。よろしくをお願いします。

委員： 実施計画の上田城跡公園整備計画ですが、どういう予定で計画されているのか聞きたい。それから笠原工業の整備事業で、観光拠点作りとして有効に利用するという計画は難しいと思うが、去年の段階からどのようになっているか聞きたい。

事務局： 城跡公園の整備について大まかなものは文化庁の承認を得てですが、今の段階では県の許可で良いもの程度です。市の方で検討委員会がありまして、県の方で史跡について審査する。それから了解を得て既に整備計画が策定されていますので、それに沿って進めている段階です。これから新しく市民会館ができるとその跡地はどうするのかとなるがそれについては新たに整備計画を作り、県または文化庁の承認を受けて後は計画に沿って整備をしていくという形になります。

4 次回会議の開催と日程について

第 2 回中央地域協議会 平成 23 年 5 月 26 日（木）

第 3 回中央地域協議会 平成 23 年 6 月 14 日（火）

5 閉 会